

みなかぜの虹



NO.10

平成28年11月4日

南風小学校学校運営協議会

コミュニティ・スクール事業 親と子の読書推進計画

「ファミリー読書月間」についてのお願い

本年度も、昨年度に引き続き「ファミリー読書」の取組を行います。

読書の秋、11月は読書月間です。子どもにとっての読書の効果は言うまでもなく、大人にとっても人生を豊かにしたり、自分の生き方を考えたりする上で大変意義のあるものと思います。

学校においても、読書に関する様々な取組を進めていますが、読書習慣は家庭でのサポートなしには定着しません。

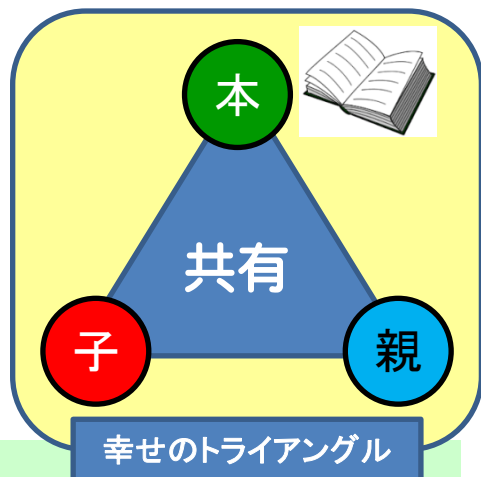
また、昨年度もご紹介しましたが、糸島市及び本校の学力に関する実態として、算数に比べて国語の学力が低く、特に言語事項と言われる「言葉のきまりや慣用句など」に課題があります。

これらの課題を解消するためにも、読書によって様々なジャンルの読み物にふれ、優れた文章を読む経験が必要です。



そして、親子で読書することはさらに別の効果もあります。昨年度も紹介しましたが、右図のような「幸せのトライアングル」というものです。一冊の本を通じて子どもと保護者が同じ時間や場、体験、感情を共有することで、子どもは保護者から承認されているという感覚をもち、自己肯定感の育成につながる効果が期待できます。

昨年度は、全校で300枚を超える「うちどくカード」が集まりました。なかには、カードを3枚も4枚もチャレンジしているご家庭もありました。



ファミリー読書の進め方

1 目的

- 読書の楽しさを感じ、すぐれた文章・言葉にふれる。
- 読書を通じて家族とのコミュニケーションを図り、自己肯定感を高める。

2 方法

- ① 子どもが本を読み、学級や全校の友達に紹介したい本を選ぶ。
- ② 子どもが「うちどくカード」に、タイトルや感想(おススメのポイント)、おススメ度を記入する。
- ③ 保護者は、子どもが選んだ本を読み、子どもとその感想を語り合う。
- ④ 保護者は、「うちどくカード」の「かぞくからのコメント」を記入する。
- ⑤ 各学級担任に提出する。

3 気をつけて欲しいこと

- 方法の④が子どもの自己肯定感のためには大切です。お忙しいところですが、お時間をとってあげてください。
- 選ぶ本は、図書館でもご自宅でも、糸島市図書館など、どちらの本でもかまいません。
- 子どもの自主性を尊重し、子どもと話し合いながら、紹介する本を決めてください。
- 11月いっぱい、少なくとも「うちどくカード」1枚は取り組んでください。もちろん何枚書かれても結構です。大歓迎です。うちどくカードは、各教室等に掲示する予定です。